

講師・パネリスト プロフィール

(敬称略)



石丸 紀興 (いしまる のりおき)

広島国際大学工学部教授

1966年東京大学大学院工学系研究科建築学専攻修士課程修了。工学博士。戦災復興計画や都市計画史の研究、被爆建物等の保存や利用方法の提案、広島における戦前戦後建築家の活動とその役割に関する研究など。著書として共著「広島被爆40年史都市の復興」、単著「世界平和記念聖堂-広島にみる村野藤吾の建築」など。中国文化賞、日本都市計画学会功績賞、日本建築学会賞(論文)を受賞。



藤本 昌也 (ふじもと まさや)

社団法人日本建築士会連合会会長

1962年早稲田大学大学院理工学部研究科修士課程修了。広島県出身。大高建築設計事務所時代に、平和記念公園からの軸線を意識した基町高層アパートの計画・設計に従事。日本各地の集合住宅の設計・計画を手掛ける一方、地場の資源・技術を活かした木造住宅生産システムの開発とまちづくりを推進中。株式会社現代計画研究所代表取締役会長。



大石 芳野 (おおいし よしの)

写真家 (ドキュメンタリー・フォト)

日本大学芸術学部写真学科卒業。1966年大学在学中ベトナム戦争に衝撃を受け、ベトナムを訪問。戦争と平和をテーマに、ベトナム、沖縄、広島、アフガニスタンなどを取材した作品を発表し、戦争の惨状を世界に伝え続けている。「HIROSHIMA 半世紀の肖像」「アフガニスタン戦禍を生き抜く」などの代表作に加え、2001年、土門拳賞を「ベトナム 凜と」にて受賞。



山田 知子 (やまだ ともこ)

比治山大学大学院現代文化研究科准教授

奈良女子大学大学院修士課程修了。住みよいまちづくりに向けた取り組みや、少子高齢化の問題に対する地域住民の協働的活動への支援の取り組みなどを研究。著書として共著「生活と環境の人間学」、「暮らしと環境の視点」、「瀬戸内海辞典」など。広島市地域福祉計画検討委員会委員、広島市大規模小売店舗立地協議会委員など公職を務める。



松波 龍一 (まつなみ りゅういち) コーディネーター

社団法人日本都市計画学会中国四国支部長

1973年東京大学工学部都市工学科卒業。日本の民間都市プランナーの草創期から各地の計画づくりに参画。特に、中国・四国地方を中心に、都市基本計画等の立案に携わる一方で、中山間の地域づくりにも関与。住民参加手法(公開・合意形成とまちづくり道工具箱)も研究。株式会社松波計画事務所代表。